

特集 広報ぬまた 600号記念

本町の広報誌の第1号は昭和25年1月1日、町報「沼田」の名称で創刊号として発行されました。第1号が発行されてから66年が経過し、その間、数回にわたり名称が変更されました。昭和39年から町報「ぬまた」と改称、さらに昭和47年1月1日発行の第209号から、町報を「広報」とし、現在の広報「ぬまた」となりました。

過去の現存する広報誌は数が少ないですが、600号という節目を記念して、510号からの本町の歴史を掲載します。当時を思い出していたければと思います。

これからも、まちの出来事や情報を分かりやすく皆様に伝えていきますのでよろしく願います。

広報「ぬまた」 NO. 510号
平成19年7月26日発行



道教委から統廃合の対象とされていた道立沼田高校の存続に向けた取り組みを特集としております。

当時の町長・議長・教育委員会・PTA 連合会等が中心となって道教委や道議会議員へ沼田高校の特色や現状を訴えながら陳情活動が掲載されています。



広報「ぬまた」 NO. 523号
平成20年10月23日発行

広報 **ぬまた** 10



■「すずらん」と出会い10年節目の年
【特集】自分たちの農地は自分で守る！
鹿捕獲大作戦

エゾシカによる農業被害が目立ち始めたことに農業者が立ち上がり、農業者自らが「くくり罠」の狩猟免許を取得し、罠によるシカ駆除への取り組みを特集としております。

現在では、38名の方が狩猟免許を取得され猟友会と連携し着実に効果をあげています。





町民一丸となって存続活動をしておりましたが、残念ながら 61 年の歴史に幕を閉じた沼田高校閉校の特集です。

沼田高校卒業生からのインタビュー、昔の懐かしい写真など 9 ページにわたって掲載されており、沼田高校が本町にとって大きな存在であったことが伺えます。



本町で初めて「地域おこし協力隊」を採用し、2名の隊員が活動を始めました。

現在では、7名の隊員が観光支援、農業支援、加工研究、移住コーディネーター等、地域力の維持・強化を図るため、活躍をされています。



「タカラジェンヌへの道！夢掴む！」と題して、飯田花音さんのインタビューを交えて紹介しています。また、飯田さんの同級生には、すでに広報誌で紹介させていただいた女子バレーボール NEC レッドロケッツに入団した廣瀬七海さんもいます。

未来のスターが、この沼田町から誕生した出来事でした。



▲飯田花音さんの記事

▲平成 28 年広報 597 号で紹介させていただいた廣瀬七海さんの記事